



JFEスチールの高炉等休止(2023.9予定)に伴う土地利用転換の取組を推進
 カーボンニュートラル拠点や首都圏防災を支える拠点形成を目指すエリア
 ・高炉等休止に伴う土地利用方針を策定(2023.8)
 ・原料ヤードの一部と大水深バースのエリアを扇島地区全体の開発の「先導エリア」と位置づけ
 ・先導エリアの整備推進に関して、市とJFEが土地利用や基盤整備などに関する協力事項や役割分担などを定めた「扇島地区先導エリアの整備推進に関する協定」を締結(2024.5)

(先導エリアの主な取組状況)

(1) カーボンニュートラル拠点

水素を軸としたカーボンニュートラルエネルギーの受入・貯蔵・供給の拠点形成をめざす
 液化水素の商用サプライチェーン構築に向けた商用化実証のための液化水素受入タンク等を整備(令和10年度実証事業開始予定)
 令和6年7月、「液化水素サプライチェーンの商用化実証」における液化水素受入地として、日本水素エネルギーがJFEスチールと土地賃貸借契約を締結

(2) 高度物流拠点

GX・DXによる効率化・高付加価値化を実現した高度物流拠点の形成をめざす
 (令和10年度一部供用開始予定)

(3) 港湾物流拠点

「川崎港港湾計画」を改訂(2024.11)し、液化水素、完成自動車等の外貨貨物を取り扱う大水深バースを活用した公共埠頭や臨港道路等を位置付けるなど、整備に向けた取組を推進
 (令和11年度一部供用開始をめざす)

(4) 高速道路アクセス

首都高湾岸線扇島出入口の4ランプ(東京・横浜両方面)整備を予定
 令和6年5月に都市計画変更
 (令和10年度一部供用開始をめざす)

(5) 一般道路アクセス

国道357号の一部区間(扇島内)整備、JFE構内通路の公道化(東西1・2号、扇島大橋)
 (令和10年度一部供用開始をめざす)

